

授業科目名	ジェンダー論			科目コード	G5806L06
英文名	Gender Studies				
科目区分	教養科目 - 社会理解科目				
職名	教授	担当教員名	彼谷 環		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	4限目		
開講時期	1年・2年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	社会的・文化的な性のありようを意味するジェンダーは、時代や地域、社会によって意識や変化がみられる。ジェンダーの概念はどのような社会のなかで成立し、国・地域の制度や法に影響を与えてきたのだろうか。日本では第5次男女共同参画社会基本計画が閣議決定されたが「ジェンダー平等」はどこまで実現したか。また、性的マイノリティの人々を支える施策について、諸外国の事例と比較し検討してみよう。				
キーワード	ジェンダー平等	ポジティブ・アクシ	隠れたカリキュラム	DV	性的マイノリティ
到達目標	ジェンダーの概念について、説明できる（20％）。				
	これまで普遍的だとされていた考え方に対し異なる視点があることを、理解できる（40％）。				
	「ジェンダー不平等」が生じる社会的・政治的背景を考え、解決する方法について議論できる（40％）。				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）		4.社会人としての能力（社会性の向上）		
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
				○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
○					○

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス——「ジェンダー」とはなにか。「両性の平等」原則と現実とのギャップを日本、世界の現状から考える。	
	【予習】「ジェンダー」概念について、文献やネットの情報を活用して調べておく。	60分
	【復習】現代社会でみられる日本と世界のジェンダー差別について整理する。	60分
第2回	近代日本における性差別と今日の動向を整理する——「男／女」（性別二元論）に基づく社会制度はどう変更しているか？	
	【予習】テキストの該当箇所を通読する。	60分
	【復習】多様な性の存在を認める諸外国の制度について整理しておく。	60分
第3回	教育——学校教育におけるジェンダー・バイアス、「隠されたカリキュラム」について考える。 （理解度を自己確認できるために、授業中にGoogle Formを使った小テストを行う。）	
	【予習】テキストの該当箇所を通読する。	60分
	【復習】文部科学省の通達の内容を理解し、望ましい教育現場の在り方について自分の意見をまとめる。	60分
第4回	家族——現代に残る「家制度」、変容する家族のあり方を考える。	
	【予習】民法（家族法）の関係条文を、テキストを活用して予習しておく。	60分
	【復習】家庭生活における男女平等が実現した部分、そうでない部分を整理しておく。	60分
第5回	契約——「いのちの値段」と男女格差、「レディース・デー」は男性排除かを考える。	
	【予習】身近で行われている「レディース・デー」「マン・デー」の内容とねらいを調べておく。	60分
	【復習】逸失利益による男女差別の歴史についてまとめる。	60分
第6回	労働——男女雇用機会均等法の歴史と展開をまとめる。 「セクハラ」、「マタハラ」の定義と裁判例から時代の変化を読み解く。 （理解度を自己確認できるために、授業中にGoogle Formを使った小テストを行う。）	
	【予習】「セクハラ」・「パワハラ」等をめぐる最近の事例について調べておく。	60分
	【復習】「セクハラ」・「パワハラ」に関する事件について近年の裁判例をまとめる。	60分
第7回	社会保障——家族モデルの変化と社会保障制度の未来について考える。	
	【予習】テキストの該当箇所を通読し、日本の現行制度を調べておく。	60分
	【復習】日本の社会保障制度と諸外国のそれとの違いをまとめる。	60分
第8回	性暴力・その1——刑法上の犯罪はどのように変容してきたかを考える。	
	【予習】テキストの該当箇所を通読する。	60分
	【復習】刑法における罪の種類が変更したことについてまとめる。	60分

第9回	性暴力・その2——ドメスティック・バイオレンス（DV）、デートDV、児童虐待の「いま」を学ぶ。 （外部講師・自治体の相談支援員による講義）	
	【予習】DVが生じる理由と子どもに与える影響について、他の授業科目で学んだことも活用しながら整理する。	60分
	【復習】講師の話を聞いて感想をまとめる。 （理解度を自己確認できるようにするため、Google Formで投稿する。）	60分
第10回	産む自由／産まない自由——「リプロダクティブ・ライツ」（性的自己決定権）の歴史と内容を理解する。	
	【予習】テキストの該当箇所を通読する。	60分
	【復習】宗教や文化を背景に、諸外国の制度に違いがあることを理解する。	60分
第11回	性表現——ポルノグラフィと「性表現の自由」、わいせつ罪との関係を考える。	
	【予習】テキストの該当箇所を通読する。	60分
	【復習】日本国憲法と子どもの権利条約を根拠に、どこまでが「表現の自由」として認められるかを考える。	60分
第12回	政策決定——政治・行政における女性参加の促進、「ポジティブ・アクション」という方法を理解する。	
	【予習】テキストの該当箇所を通読する。	60分
	【復習】女性の政治参加が顕著な諸外国の制度とその効果についてまとめる。	60分
第13回	司法——犯罪被害者・犯罪加害者とジェンダーの関係性を考える。 性被害者に対する報道による「二次被害」の深刻さ、「加害者に対する教育」にはどのようなものがあるか。	
	【予習】テキストの該当箇所を通読する。	60分
	【復習】犯罪被害者と加害者の報道の仕方について、新聞やネットニュースを比較しながらまとめてみる。	60分
第14回	男性にとつてのジェンダー——ワーク・ライフ・バランス（WLB）の実現と課題	
	【予習】テキストの該当箇所を通読する。	60分
	【復習】男女平等の実現を男性の視点から考察する重要性を理解する。	60分
第15回	世界のなかの性差別——児童婚、持参金制度（インド）、女子割礼（アフリカ諸国）等、人権侵害と指摘される文化的慣習について考える。	
	【予習】これまで学んだ諸外国の性差別について整理しておく。	60分
	【復習】授業内容について、「子どもの権利」の保障という視点からも深められるようにする。	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目 及び では、授業中に指定する課題を中心に評価する（50％）。 到達目標項目 では、期末レポートで評価する（50％）。 人間性：50％、 社会性：50％ なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。		
使用資料 <テキスト>	犬伏由子・君塚正臣・井上匡子編『レクチャー ジェンダー法』（法律文化社）	使用資料 <参考図書>	テーマにあわせ適宜資料を配布する。
授業外学修等	・授業のはじめに今日生起している法的社会的ニュースを取り上げるので、各自新聞をよく読んでくること。 ・授業テーマについては、テキストや資料・文献等を参考に復習を心がけること。		
授業外質問方法	時間外の質問は、メールで受け付ける。 kayatama@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	水曜3限		